

平成19年度 市政懇談会意見・要望

本＝本庁(黒磯)、西＝西那須野支所、塩＝塩原支所

| 日付 | 会場 | 所属部 | 項目 | 意見・要望 | 担当課 | 懇談会での回答 |
|------|-------|-----|------------------|---|-------|---|
| 7/31 | 三島公民館 | 企画部 | 車座談議について | 車座談議のことで、市長に伺いたいが、始めて1年半たち、私どものほうでも車座談議を開くたび意見の対立があり、20万の事業費をいただいているなか、車座談議の進展がみられない。事業があと1年半ということで、これから1年半で打ち切るのか、継続していくのかお聞きしたい。 | 市長 | 車座談議については、昨年の4月にこの事業にはいったところだが、地域によってはまだ動きだしていないところ、4・5回の会合を開いている地域もある。車座談議の大きな目的は市民の意見を大いに取り入れていきたいという考えで、地域担当制ということで、職員が外に出ていき、地域の状況をつかみ、市民とのつながりを大事にしていきたいという考えのもとに設置をしている。内容については、どういこうでも結構なので、地域内で協働のできるものとして、地域の問題としてまとめていただき、大変でも地域を守っていくという考えで進めて頂きたい。自分たちで問題を把握し、行政と協働で話をすすめ、検討して頂く。1年2年でやめるつもりはありませんので、ご理解頂きたい。 |
| 7/31 | 三島公民館 | 企画部 | 車座談議について | 私は四区町の車座談議に顔を連ねているが、開店休業の状態。会議の進め方すらもはっきりしていないので、行政指導を強めて、会議の進め方を確立できるよう指導をお願いしたい。(要望) | 総合政策室 | 要望として承る。 |
| 7/31 | 三島公民館 | 企画部 | 市政懇談会の結果の公開について | 市政懇談会の内容がインターネットで公表されている。その中で「検討します」という項目が何度もできますが、検討内容の状況をいれていただければありがたい。 | 秘書課 | 色々な要望を受けた中で、予算の中で対応できるものはどれか、さらにはある程度期間をかけ検討していくものもあり、検討し回答をしている。検討もいくつかの段階があると思うので、市民の皆さんにできるだけわかりやすく書き込んでいくよう努力していきたい。 |
| 7/31 | 三島公民館 | 企画部 | 市政懇談会の資料の作り方について | 本日の資料の作り方ですが、2ページは図入りで一目で那須塩原の人口がわかるが、予算に入ると数字だけとなっている。市の予算の使い方をこの機会にPRすべきですが、できれば主な事務事業や項目ごとに、例えば円グラフになっているとか、そうすれば予算の使い方がわかりやすいかと思う。一般住民に関心を持っていただくように、予算執行・収入が一目でわかるような方法を講じていただきたい。 | 秘書課 | 資料の作り方については、もう少し工夫の仕方があると思う。目に訴えることも大切なことなので、来年にむけて勉強させて頂きたい。 |

| 日付 | 会場 | 所属部 | 項目 | 意見・要望 | 担当課 | 懇談会での回答 |
|------|-------|-----|------------------------------|---|-------|--|
| 7/31 | 三島公民館 | 企画部 | 首都機能移転誘致活動について | 議会だよりに、首都機能移転をやめ、予算をなくすとの意見がでていたが、第二の関東大震災が予知されている今こそ首都機能移転をすべきではないのか。国会だけでも移転し、東京の一極集中をなくすため、ぜひ首都機能移転誘致の旗は降ろさないよう要望する。 | 企画情報課 | 首都機能移転については、国会の中でも議論が進んでいない状況。市民や議員の中にも色々な声があるのも事実だが、那須塩原市として取り組みをやめたわけではなく、市議会の中に特別委員会があり、また栃木県北の市町組織もあるので、県と歩調をあわせ、息の長い活動をしていく。 |
| 7/31 | 三島公民館 | 企画部 | 地域協働で行うべき事業のやり方が合併後も統一されていない | 合併後、例えば児童クラブとか敬老会とか、その他各種協働でやるべき事業やり方・協力者の選出の仕方が、地域によって違っている。黒磯・西那須野・塩原といった地区ごとのやり方で行っていて、那須塩原市全体として統一されていない。これから行政改革を行って、統一が図られるのだろうが、同じ市民として同一歩調で事業が進むような行政のあり方を考えていかなければならないのではないのか。また、車座談議についても、地域差があって統一されていないので考えていただきたい。 | 企画情報課 | 合併して3年になるので、行政としてもきちんとやっていかなければならないと考えている。現在、組織の見直し中であり、どこか窓口になってまとめてやっていけるところを考えていきたい。車座談議についても、ある程度の筋道は示しながら、今後よりよい方向で運営ができるよう努力していきたい。 |
| 7/31 | 三島公民館 | 企画部 | 西那須野庁舎を多目的複合利用できる庁舎にしてほしい | 合併により、西那須野庁舎は利用されていない空きスペースが多すぎるので、多目的複合施設として活用してほしい。新庁舎を建設する場合も同様に多目的複合施設として建設してほしい。 | 企画情報課 | 合併の当初は組織上の問題で、西那須野庁舎に確かに空きスペースはあったが、平成18年の4月に組織機構の見直しをおこない、現在は教育委員会と水道部が西那須野庁舎に本庁をかまえている。現状から言うと、議場の関係が利用されていないということで、課題があるかと思うが、これについても行政的に活用していきたいと思っている。新庁舎については、将来に向け準備をしていく段階にあり、その中では合併協議で那須塩原市周辺ということで合意されており、ご提案いただいたことを踏まえ考えていくことになる。 |

| 日付 | 会場 | 所属部 | 項目 | 意見・要望 | 担当課 | 懇談会での回答 |
|------|-------|-----|-----------------|--|---------|---|
| 7/31 | 三島公民館 | 教育部 | スポーツ拠点施設の建設について | <p>①合併前のスポーツ施設が散在し、核となる施設がない。矢板市・栃木市の施設に比べても、みずぼらしい感じがする。スポーツの核となる施設として、多目的公認陸上競技場あるいは多目的体育館の建設をお願いしたい。施設が完成すれば、日本選手権大会のような招致もでき、スポーツ振興により健康の増進・医療費の削減も図ることができるので、介護予防の面からもメリットがあると思っている。</p> <p>②スポーツ拠点施設については、今日明日というお願いではなく、どこかで計画に入れていただきたい。</p> | スポーツ振興課 | <p>①多目的グラウンド・体育館がスポーツ振興の面、11万5千の都市として必要であると、十分認識をしており、スポーツ進行審議会からの答申もいただいている状況。合併をして色々な事業もあり、多額の事業費もかかる問題であり、すぐに着手というわけにはいかないので、今ある施設を有効活用して、健康増進のためスポーツ振興をはかっていきたい。おっしゃることは十分理解しているので、那須塩原市として今後どういった施設が必要なのか検討してまいりたい。</p> <p>②要望として承る。</p> |
| 7/31 | 三島公民館 | 教育部 | 中学校学区について | <p>中学校学区について、何年ごろまでにどのような経過で学区編成をして中学校を増設するのか、ある程度の目安を示していただかなければ、理解がえられないだろうし、そういった方向で準備も考えていってもらえるのではないかと。中学校・学校建設については莫大な費用がかかる。ある程度、年次的に計画を示していただければ、市民にも理解していただけるものと思っている。</p> | 教育総務課 | <p>西那須野中学校、三島中学校については、大規模化しているということで、現在、耐震調査と学区審議会と平行して進めている。学区審議会については平成18～20年の3年間で、来年度までには答えがいただけるものと思っている。耐震調査についても、今年度で調査を終了し、審議会に反映させていきたい。計画としては、耐震工事と適正配置・分離・統廃合など改修工事も含め計画をし、15年かけて実施していきたい。非常に膨大な金額になると予想されるので、審議会の答申を待って計画していきたい。</p> |

| 日付 | 会場 | 所属部 | 項目 | 意見・要望 | 担当課 | 懇談会での回答 |
|------|-------|-----|-----------------------|---|--------|---|
| 7/31 | 三島公民館 | 教育部 | 西那須野地区の中学校配置について | 西那須野地区には西那須野中学校・三島中学校の2校しかなく、マンモス校化していると聞いている。場所も南小や西小から距離的に遠く、教育の機会均等の面からも、中学校増設の必要があるのではないかと。 | 教育長 | 昨年度より、学区審議会を立ち上げ、市内35学校の代表が3年間かけ那須塩原市全体の学校の適正配置・人数について審議しているところである。平成20年度末までに答申をいただき、学区についての見直し、児童生徒数の適正化について教育委員会としてどのように考えたらよいか、現在取り組んでいるところである。 |
| 7/31 | 三島公民館 | 教育部 | フルブライト交流事業について | 広報7月20日号に掲載されたフルブライト交流事業で、アメリカの教師が訪問されたとのことですが、この交流事業を通して、日本としても取り入れるべき点や感想でも結構ですので、何かお気づきの点がありましたら聞かせて欲しい。 | 教育長 | フルブライトの件については、全米各地から選ばれた20名の方が訪問し、宿泊地は1泊がホームステイをしていただき、他市町にも協力を頂いた。初日に市長との歓迎会と翌日昼食会を行い、日本の教育・那須塩原の現状について知りたいということで、たくさんの質問があり、こちらから向うの状況を聞くという現状ではありませんでした。昼食会では市長がもちを振舞いまして、日本の食についても興味を持っていただいたり、また牛乳を提供したところ産業についても興味を持ったということと、小中学生の1日の生活状況や学校給食についてなど、日本の教育について理解ができたとのことである。また、塩原温泉に1泊し、足湯や温泉も満喫した。 |
| 7/31 | 三島公民館 | 建設部 | JR西那須野駅前公園の池の安全対策について | JR西那須野駅前公園の池が水深40～50センチメートルあり、縁石が20センチほどの高さしかなく、子どもにとって大変危険である。幼児や弱者のために、現場を確認した上で、ぜひ安全対策をとっていただきたい。 | 西都市計画課 | 西那須野駅前広場公園の池の安全対策については、現在街づくり交付金事業により、駅の西口の整備をすすめているのでその中で公園の池の安全対策についても、検討させていただきたい。 |

| 日付 | 会場 | 所属部 | 項目 | 意見・要望 | 担当課 | 懇談会での回答 |
|------|-------|-------|---------------------------|--|--------|--|
| 7/31 | 三島公民館 | 建設部 | 景観条例を制定し格調あるまちづくりをすすめてほしい | 武蔵野市では30年前に落ち葉条例を制定し、「だれの木でも緑の恩恵は皆が受け取るものだから、落ち葉の害はそれぞれ我慢しましょう」と緑の大切さを訴えています。四区工業団地の街路樹79本が電話線の邪魔になるとして、途中から切られてしまった。市長の言う「人と自然がふれあうやすらぎのまち」に合致するものではないと思う。京都市でも古都の風情を守るため景観条例を制定しておりますので、那須塩原市も景観条例を検討し、格調ある街づくりをすすめてほしい。 | 本都市計画課 | 景観条例の制定の関係については、景観法に基づく景観計画を平成19年度と来年度にかけ、作成する予定となっている。その中で条例等についても検討していきたい。 |
| 7/31 | 三島公民館 | 建設部 | その他 | 資料5ページの下水道事業についてですが、下水道の達成率と下水道の処理がどれくらい進んでいるのか、お聞かせください。 | 西下水道課 | 下水道の整備については、生活排水処理整備率ですが、平成22年度までに70パーセントを目標として、那須塩原市全体で62.9パーセントという状況であり、5年後の目標にむけ努力したいと考えている。 |
| 7/31 | 三島公民館 | 建設部 | 西小学校の通学路にガードレールを設置してほしい | 西小学校の通学路には交差点がいくつかあり、ここ4、5年でも事故が4件おきている。2、3日前も事故があり、非常に危ないので、ぜひ通学路にガードレールを設置し、児童を交通事故から守るよう要望する。 | 西道路課 | 西那須野小周辺のガードレール設置についてですが、現在の市道については、よく現地調査した上で、対応していきたい。 |
| 7/31 | 三島公民館 | 建設部 | 西小学校脇の歩道上の危険木の撤去について | 西小校庭脇の桜の木が枯れて今にも倒れそうである。市は3月に舗装工事をしているので、気がつかないわけではないと思うので、なぜ放置しているのか、ぜひ改善してほしい。 | 西道路課 | 危険木の撤去については、現地調査の上対応したい。(現地を確認したが倒木はなかった) |
| 7/31 | 三島公民館 | 産業観光部 | 集落排水の接続率について | 集落排水事業の接続率が非常に悪い、事業開始4年たって接続率が55パーセントほどと聞いている。PR不足と浄化槽がまだ使えるなどの理由で接続率が悪いということであるが、市からの利子補給が3年間で打ち切られてしまうので、ますます接続率が悪くなると思う。市としても何か考慮していただき、また接続率を上げるためのPRをしていただきたい。 | 西農務課 | 集落排水の接続率が悪いということで、確におっしゃるとおりである。すでに浄化槽につないでしまった方で、集落排水に接続しない方が多くいるので、未接続の方については個別訪問を行うなどして、理解を得られるよう努力しているところである。利子補給についてもおっしゃるとおりだが、公共下水道も3年以内に接続するという事も決まっているので、何が原因で接続できないのか、さらに検討を重ね接続いただけるよう努力していく。 |

| 日付 | 会場 | 所属部 | 項目 | 意見・要望 | 担当課 | 懇談会での回答 |
|------|-------|-------|---------------------|---|--------------------|--|
| 7/31 | 三島公民館 | 市民福祉部 | 学童クラブ公設民営化について | 児童クラブの地域による違いの統一をいつごろまでにするのか、児童クラブがいつごろ民営化になるのかとかといった目安を示して、統一を図っていただきたい。 | 社会福祉課、西福祉課、塩市民福祉課 | 学童クラブの公設民営化の件は保護者会を立ち上げるにあたって、公設民営を前提にしていけないので、現段階では保護者会のあり方を勉強している。今後、公設公営・公設民営のメリット・デメリットについて研究したいということです。その中で、大規模クラブについては2年後に補助打ち切りと示されているので、もろもろのことを考慮しながら、なるべく早い時期に公設民営化の方向で、努力をしていきたい。 |
| 7/31 | 三島公民館 | 市民福祉部 | 学童保育について | ①時代や社会の要請で、学童保育は非常に大切な施設となっている。経営の形態としては公設公営・公設民営・民設民営の3つの形態が考えらるが、公設公営の形態が一番望ましい形と考えている。学童に安全を保護者に安心を与えるのは行政の責務であろうと思う。行政の援助をいただかないと、先行きが行き詰まりになる。 ②私は東原小学校で学童保育を行っているが、公設民営の場合、保護者は忙しいから学童保育に預けている。経営に携わる時間もノウハウも持ち合わせていないのではないかと考えているので、再度検討いただきたい。また、なかなか指導員が集まらない現状なので、お金がかかっても安心安全のために、行政としても面倒を見ていただきたい(要望) | 社会福祉課、西福祉課、塩市民福祉課 | ①学童保育については、黒磯地区は公設民営、西那須野地区・塩原地区は公設公営の形です。市の方針としては、公設民営の方針で考えているが、西那須野地区・塩原地区で保護者会を立ち上げ、保護者の理解を得るため、メリット・デメリットについて話し合っていた。学童保育のよりよい運営のため、保護者会と事務担当者間で、協議をしているところである。また大規模な学童クラブの解消も図らなければならないので、十分協議研究をして、那須塩原市にあった学童保育のありかたを決定していきたいと思っている ②要望として承る。 |
| 7/31 | 三島公民館 | 市民福祉部 | 敬老会のありかた・招待者の年齢について | 敬老会を主催していく中で、色々な行事をかかえ、非常に大変であり、後任の人たちが苦勞をしていかなければならないのでは、非常に心苦しいものがある。敬老会への出席者が同じような人たちで、新しい人がなかなか入ってこない。招待者の年齢を77歳ぐらいまでに引き上げていただき、また77歳の祝い金をだしているが、そういったところを儉約して、包括支援センターなどにお金を回していただければと思う。敬老会は飲み食いするだけで終わらせてよいものなのかと感じている。 | 本高齢福祉課、西福祉課、塩市民福祉課 | 敬老会につきましては、自治会長はじめ地域の方のご協力をいただき、19年度も敬老会を実施していただけるということで、感謝申し上げます。その中で年齢の問題ですが、現在75歳以上ということで9,500人程度、祝い金は77歳88歳100歳以上の方に祝い金を贈っている。全体の予算としては、平成19年度当初予算で約8,000万円の予算となっている。多いか少ないかは別にして、介護保険給付費が約45億円で、利用している方が約3,000人ほどとなっている。年齢や祝い金についても、事務局で十分検討・研究をして、近隣市町村の状況、県内の状況を参考にした上で、変更することもやむをえないのかと思っている。楽しみにしている方もいるので、あらかじめ年度を設定した中で、何年度から今までの方法を変えるということにPRを行う形で、実施したいので、内部で研究をさせていただきたい。 |

| 日付 | 会場 | 所属部 | 項目 | 意見・要望 | 担当課 | 懇談会での回答 |
|------|-------|-------|----------------------------|---|-------|--|
| 7/31 | 三島公民館 | 水道部 | 水道水の安全について | 広報誌7月20日号の水道水を安心安全に飲んでいただくためにという特集記事の中で、石綿セメント管の水道水の影響とあった。水道管が老朽化していて、最近地震も多く、地震がなくても自然損や地震による大量損壊がおこった場合、非常に大きな問題になると考えられ、整備状況と、いつ頃までに水道管の更新を達成できるのか教えて欲しい。 | 水道施設課 | 石綿セメント管については、18年度までで市全体で、現在240キロメートルほど残っている。本年度に約21キロメートルを整備予定で、単純に10年以上かかる予定だが、約10年以内に整備したい考えで進めている。西那須野上水道では約60キロほど残っており、全体では石綿セメント管以外にも铸铁管や塩ビ管やポリエチレン管なども残っているので、施設としてかなり老朽化している。今後の事業の進め方について、本年度はパブリックコメントなども予定しており、いろいろご意見を賜ればと考えている。 |
| 7/31 | 三島公民館 | 生活環境部 | きめ細かいバス路線の設置について | 平塚から20年前に引越しをして、環境としては西那須野と変わらないのですが、交通の便が悪いことが一番の違いでした。バスを増設することになっているが、幼稚園バスのようなマイクロバスで、住宅地をまわるような運行ができないものかと思っている。高齢化によっていつまでも運転できるものではないですし、しかし車がないと非常に不便で、病院に行くことも出来ない。ぜひそういったバス路線を考えていただけたらと思う。 | 本生活課 | 高齢化社会が進んでいく中、病院へどうやっていけばよいのかといった認識は十分している。一方、財源に限りがありまして、市営バスを小まめにだすということは、当然赤字ですので、できない状況にある。まずは横の連携として、10月より新規路線として西那須野から国際医療福祉大学病院を通り、黒磯に行く路線ができる。財源等の問題もあって、新しい方策を導入しないと今おっしゃったようなものは行えない。市域も広いわけで、西那須野地区だけというわけにはいかない。5年以内には全体をみて、民間間活力を利用しながら、勉強し、住民の要望にこたえていこうという段階である。10月1日からは、塩原の人は西那須野にも接続して、日赤にも行きやすくなり、そういう努力をしておりますので、当面はこれでやってみて、次のステップへと考えている。 |
| 7/31 | 三島公民館 | 総務部 | 収税嘱託員の着服事件に関する市の対処と考え方について | 市の税金徴収員が今年の4月に百数十万円を横領したが、市の対処と考え方を教えて欲しい。また、処分の内容を教えて欲しい。処分ができなかったのであれば、それに相当する慰謝料や罰則金をとるべきであって、考え方が甘すぎるのではないか。 | 収税課 | 収税嘱託員の収税金の着服の関係で、市民の方にご迷惑、ご心配をおかけし、この席を借りましてお詫び申し上げます。収税嘱託員で本年3月末で退職をした者が、後を受けた方が納税者を訪問した時に、発覚をしたものである。本人が受け持っていた区域を職員がすべて訪問して確認をとり、本人が全額弁済し、また反省をしており、高齢者を介護しているなどの家庭のおかれた状況や、社会的な制裁も受けており、納税者の方の寛大な処分をお願いしたいという市民の声もあり、あえて警察に告発はしなかったが、警察には全てお知らせをした。私どもとしても早期発見できなかったことで、担当職員等処分を行い、今後そのようなことがないように万全を期していく。処分内容については、本人はすでに3月に退職をしており、処分はしなかったが、収税嘱託員の管理不行き届きということで、担当部長、担当課長、担当副主幹が戒告・減給など処分を受けた。 |